

平成29年11月19日  
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 三苦ホーネッツ戦

六回裏、勝敗が決まっても全力でタッチアウトを狙う三友クラブ駄原捕手。

写真：新町ウインズ 早田 主大

青松園A 今年最後の試合 有終を飾るのは？

三友クラブ (6勝6敗1分) 000000 0 ●足達一駄原

三苦ホーネッツ (11勝2敗) 00103× 4 ○川原一広木

HR：広木(三苦ホ)

今年一番の冷え込みの中始まった今シーズン最後の試合。先に先制したのは三苦ホーネッツ。三回裏に先頭打者井手選手がセンター前ヒットで出塁すると相手バッテリー間のミスもあり一気に三塁まで進塁。次打者のショートゴロで一気に先制を掴む。さすがホーネッツといったところか。反撃したい三友クラブはランナーを出すも川原投手が要所を締める投球で三友クラブは三塁に進めることが出来ない。対する足達投手も緩急をつけたピッチングで四回まで3安打に抑えるナイスピッチング。しかし五回裏に守りのミスで二死二三塁となりホーネッツの四番広木選手にレフトオーバーの3ランHRを打たれ勝負が決した。

今年の感想と来年の意気込みを両チームの監督に聞いてみました。

三友クラブ監督談：今年は五分の成績でしたが、若手の向上もあり来年に繋がる1年だったと思います。来年は優勝を目指せるチームになっているはず。狙います・・・。

三苦ホーネッツ監督談：メンバーがギリギリの時でも団結して戦い、勝利をもぎ取ってきました。今年は2位でしたが来年は当然優勝を勝ち取ります。(記事：新町ウインズ 大久保 浩、写真：早田 主大)



メンバーを発表するホーネッツ中村監督。



メンバーを発表する三友クラブ広瀬監督。



今季最終戦の試合前挨拶。



完封したホーネッツ川原投手。



粘って四球を選んだ坂本選手。



広木選手への1球が悔やまれる三友クラブ安達投手。



坂本選手の打球はセカンドへ。



打席に入る三友クラブ山本選手。



ダイビングキャッチをしたセンターの尾澤選手。



本日2安打のホーネッツ一番井手選手。



打球を放つホーネッツ五番稲葉選手。



風で戻された打球をキャッチする矢野選手。



ライズボールに手を出した駄原選手。



ランニングスローをする三友クラブ平田遊撃手。



打球を処理する三友クラブ坂本三塁手。



戦況を見つめるホーネッツ朝川コーチ。



「代打俺！」三友クラブ広瀬監督。



試合を決定づけたホーネッツ広木選手の3ランHR。



打球を処理するホーネッツ三浦三壘手。



リリーフした三友クラブ坂本投手。

## 第26週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第26週、11月19日は1試合のみが行われました。

青松園Aの三友クラブ対三苦ホーネッツ戦は、三友クラブが鬼門のホーネッツだが、三回裏にホーネッツ一番井手選手のこの日2本目のヒットを足掛かりに先制すると、五回裏には四番広木選手の3ラン。投げては三友クラブに苦手意識がない今年入団の川原投手が2安打完封。0-4でホーネッツが最終戦を飾った。ホーネッツ井手選手は3打数1安打だと首位打者をパイレーツ長倉選手に譲るところだったが、見事2安打して首位打者を獲得した。

## WSL執行部による各表彰チーム、選手選定会議

11月22日（水）にWSL執行部にて本年度の表彰チーム・選手選定会議が行われました。

また、12月10日（日）に行われる第1回三地区対抗ソフトボール大会やその後16時から行われる平成29年度WSL閉幕式、審判のレベルアップ、青松園の石灰問題、各チーム構成についてなどより良いWSL運営のための多岐にわたる議論が交わされました。

